

就学前教育講座① 7月31日(月)中主防災センター

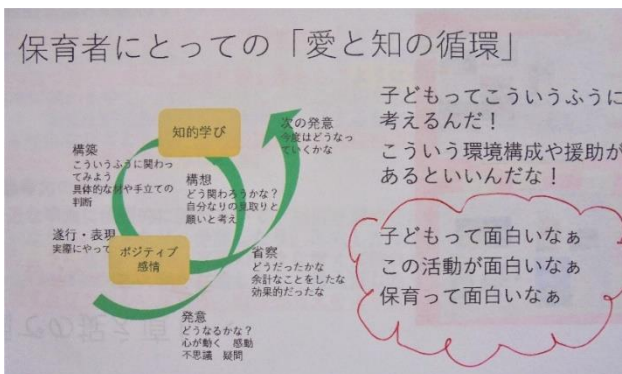
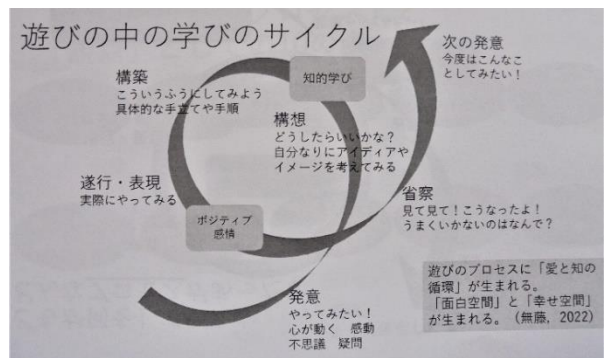
夏真っ盛りの午後でしたが、元気な保育者さん31名の参加でした。

「遊びの中の学びを捉え直す」という演題で福井大学連合教職員大学院教授の 岸野 麻衣先生に講演していただきました。

右図のように遊びの中の学びのサイクルには、「発意」「構想」「構築」「遂行・表現」「省察」そして次の「発意」へという流れがあり、その中には『知的学び(面白空間)』と『ポジティブ感情(幸せ空間)』が存在すると話していただきました。それは、遊びのプロセスに「愛と知の循環」が生まれているのだと。泥団子遊びの場面をこのサイクルに合わせてみると子どもたちの活動を丁寧に観ることができました。

次に、10の姿の中に幼児期に育みたい資質・能力がはっきりと文面で明記されていることを改めて確認しました。

また、体操、製作、苗植え、収穫、特色ある活動等の一斉的な活動の中で、子どもたちが発意をもって、自分なりに考え、工夫し、表現し、感じたり気づいたりする場面が必要であること。振り返りでは次にこうしたいという思いを子どもたちが持つことが大切だと教えていただきました。一斉的な活動でも心を動かしているのかということのを常に意識して保育者は活動を組んでいかなければいけないということです。



先生、見て、見て。
は、子どもの振り返りの時間。どのような言葉を返すのが、とても重要。

語り掛ける岸野先生



最後に、「子どもの遊びの中の学び」のサイクルを考えると同時に、その時々保育者がどのような援助や声掛け、環境構成をしていかなければいけないかが重要だと話されました。(左斜め上の図)

それができることが保育者の育ちであり、子どもとともに学び成長していくことだと教えていただきました。

岸野先生ありがとうございました。

一斉保育での学びについて

お知らせ

8月14日(月)に野洲市教育委員会の教育総務課・学校教育課・教育研究所は、本庁所西館から人権センター2Fに移転しました。お越しの際は、間違われぬようお気を付けください。今後ともよろしく申し上げます。